

第26回 千葉市少年サッカー大会 5年生の部 選評

【準決勝 第1試合】

若松エルフサッカークラブ 2 対 1 花園サッカークラブ

天候晴れ、気温、湿度、風、ピッチ状況、決勝への切符を賭けるにふさわしい環境下で千葉県少年サッカー選手権5年生大会準決勝が開催された。

準決勝第1試合は、若葉区に拠点を置くオレンジの若松エルフサッカークラブ(以下若松)と花見川区に拠点を置く緑の花園サッカークラブ(以下花園)の戦いとなった。若松のキックオフで試合が始まった。

両チームともに決勝戦への切符を賭けた試合ということもあり、緊張のせいか選手の動きも少々硬さがとれない立ち上がりとなった。前半は緊張感の続く試合であったが、安定感と知性を感じさせるDFラインの若松、ショートパス、ロングパスを巧みに使い高いチーム戦術を仕掛ける花園の攻防が続いた。

停滞ムードで折り返すと思われた前半13分、花園8番水野真成選手のゴールでゲームが動いた。正確なショートパスを重ねた花園は一瞬の若松DFのギャップを見逃さずサイドチェンジからの得点だった。この得点から勢いに乗りたいた園であったが、前半15分、ペナルティエリア付近で若松がフリーキックを獲得する。ゴールまでの距離は少々あったが、若松3番大森駿季選手が直接狙いゴール。正確なキックは美しいラインを描き、花園GKの頭上を越えてのゴールだった。ゲームは振り出しに戻りハーフタイム。

後半は両チームともに前半の硬さもとれ、本来の実力を取り戻した。花園のキックオフで試合が始まった。後半2分、若松フリーキックを獲得する。若松18番麻生哲平選手が直接ゴール狙うもの、花園GKに阻まれチャンス逃す。対する花園は果敢に攻めゴールチャンスうかがう。花園42番入野凜選手のクロスに24番穴倉歩選手のシュート。リズムを作りたい花園は後半7分、31番濱野幸樹選手に代わって22番梅木佑真選手を投入。後半10分、花園7番尾前歩斗選手のスルーパスから花園8番水野真成選手のセンターリング。後半13分、花園5番木戸力也選手のコーナーキック。24番穴倉歩選手に代わって29番梶鉄平選手を投入。選手交代でリズムをつくり、再三のゴールチャンスから得点できない花園。その隙に若松は後半15分、18番麻生哲平選手がPKを獲得するも花園GKのファインセーブに阻まれる。攻撃の手を緩めない若松は後半18分、若松3番大森駿季選手のインターセプトからパスを受けた18番麻生哲平選手が自らペナルティエリア内に進入しそのままゴール。最後まで諦めなかった花園だが、ここで試合終了。技術、戦術、精神的にも素晴らしい試合をしてくれた両チームに賛辞を送り、更なる活躍を期待したい。

美浜区サッカー協会 技術部 堀川 翔

【準決勝 第2試合】

バディ-サッカークラブ千葉S 7 対 0 フロインツ レッド

5年市大会準決勝第二試合は美浜区どうしの対戦になり11時 バディ-サッカークラブ千葉S(以下バディ)のキックオフで開始。

前半、バディ-がドリブル、パスワークで広いピッチをうまく使いフロインツを押し込む展開となった。

バディ-S10番斉藤友翔君を軸に3番塚塚君、6番佐藤佑樹君と落ち着いたプレイで攻撃のチャンスうかがう。

3分、バディ-10番斉藤友翔君のドリブルから13番斉藤海一君にわたりそのまま右サイドからドリブルシュート決まる。

なおも攻勢にでるバディ-は左サイドから7番音川君から13番斉藤海一君がシュートするもフロインツ

14番田代君がよく守る。10分、フロインツ22番藤井君右サイドからセンターリング2番本君がシュートするも

バディ-GK伊藤君が好捕。押し気味のバディ-は14分、11番上谷君がドリブルからファウルをとりフリーキック。

13番斉藤海一君から11番神谷君がクリーンシュートを決め2点目をうばう。

19分、バディ-19番高坂君左サイドから切れ込みゴール右に3点目を決め前半終了。

後半に入りフロインツが9番斉藤君、7番小林君がしつこく相手のボールを追い2番本君がからんでいい攻撃をするもシュートまでもちこめない。

7分、バディ-11番上谷君に代わって入った15番佐久間君が右サイドより持ち込み4点目のシュートを決める。

フロインツも10分4番安藤君から22番藤井君とつなぐ9番斉藤君がシュート打つも決まらない。

バディ-はなおも攻撃の手を緩めず5番鶴澤君、15番佐久間君と得点を決め 7-0でフロインツをくだし決勝に進出した。

美浜区サッカー協会 技術部 天野好文

【決勝】

バディ-サッカークラブ千葉S 8 対 0 若松エルフサッカークラブ

秋の涼しい晴天、気候・環境共に最高の状態の中で千葉市5年生のチャンピオンを決める戦いが始まった。

キックオフは若松エルフサッカークラブ(以下エルフ)、開始から激しいプレスでバディ-サッカークラブ千葉S(バディ-)の選手に判断させる時間を与えない。前半開始の主導権はエルフが握った。激しいプレスから相手コートに押し込み、積極的にゴールを狙う。

2分にはエルフ12番大藤光貴君がシュートを狙うもゴール右へ外れる。その後もエルフが前線からプレスをかけるがバディ-も冷静に対応する。徐々にプレスに慣れバディ-がボールを支配する展開になる。バディ-7番音川俊太郎君が左サイドでボールを受けダイレクトで13番斉藤海一君へスルーパスを送る。裏へ抜け出した斉藤海一君がシュートモーションにはいるがエルフ16番大野俊君がスライディングでブロックする。このプレーから流れがバディ-になる。

8分バディ-の攻撃、10番斉藤友翔君が中盤でボールを動かし左サイドにポジションを取る7番音川俊太郎君に繋ぐ、音川俊太郎君がそのまま左サイドを突破しクロスをあげる。そのボールに13番斉藤海一君が合わせ待望の先制点を挙げる。その後もバディ-で試合が進む。14分には3番塚塚君がFKを直接狙うがエルフ1番花嶋亮君がパンチングでセーブする。そのこぼれたボールをバディ-13番斉藤海一君がヘディングで押し込み追加点。前半終了間際19分にはバディ-6番佐藤佑樹君の縦パスに抜け出した13番斉藤海一君がゴール左へ決め前半でハットトリックを達成。前半で3-0となったがエルフも18番麻生哲平君・19番根本怜輝君を軸にカウンターチャンスを狙う展開となる。特にエルフ18番麻生哲平君のボールを扱う技術とファーストタッチは輝いていた。

後半もバディ-の勢いは止まらない。後半開始直後にはバディ-16番松野聖哉君がドルシュートを決めて4-0となる。

27分から29分までの3分間でバディ-13番斉藤海一君が3点奪いスコアを7-0とする。斉藤海一君は後半でもハットトリックの活躍。34分にはバディ-15番佐久間太一君が右サイドから中央へ持ち込みシュートを決める。このままスコアは動かず試合終了。

決勝で敗れてしまったエルフだが最後まで試合を諦めずゴールを目指す姿勢は必ず今後活かされると感じた。

素晴らしい環境の中で好ゲームを演じてくれた両チーム選手及び監督に賛辞を送ると共に今後の活躍に期待したい。

美浜区サッカー協会 技術部 岩間 浩昭